

新型コロナウイルス感染症に対する三島市の支援策

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第18回の今日は、「新型コロナウイルス感染症に対する三島市の支援策」について伺います。豊岡市長よろしく申し上げます。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 政府の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の目玉政策の一つであります一人10万円を支給する特別定額給付金ですが、三島市での支給状況は順調でしょうか。

市長： 三島市では、7月末の時点で98.8%を超える方へ特別定額給付金の支給が完了しました。申請期限は約2週間後の8月18日までとなっております。まだ申請がお済みでない方は期限内に忘れずにお手続きをお願いします。お体が不自由で申請の手続きが難しい方や、申請の仕方がわからない方は個別に対応させていただいておりますのでお気軽にご相談ください。

アナ： まだ10万円の特別定額給付金の申請をされていない市民の方もいらっしゃるようです。申請期限が迫っておりますので、お早めに申請をお願いします。

さて、一度は収束に向かっていると思われておりました新型コロナウイルスの感染が再び拡大してきたことは大変不安ですね。

市長： はい。市民の皆様一人ひとりには、改めて、感染予防に気を緩めることなく、「身体的距離の確保」、「マスクの着用」、「丁寧な手洗い」といった基本的な感染対策を徹底していただきたいと思います。

また、市では、感染症の拡大に備え、三島市医師会の協力で、新型コロナウイルスの感染有無を調べる「PCR検査センター」を8月中旬に開設することにいたしました。検査センターでは、かかりつけ医によって検査が必要と判断された方を対象に、ドライブスルー方式で検体採取を行う予定であります。

アナ： 市内での感染拡大を防ぐために大変心強いですね。特にご高齢の方や障がいをお持ちの方、妊婦の方はこの新型コロナウイルスの感染は人一倍不安を感じていると思います。

そういえば先日、妊婦さんに市独自の支援を行うという新聞記事を拝見しましたが。

市長： はい、妊婦の皆さんは、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、万一感染した場合、胎児にどんな影響があるのか明らかになっておらず、健診に行くことにも気がつかいながら、不安とストレスを抱えて出産の準備をされていると思います。市では、妊婦の皆さんが少しでも安心して出産を迎えていただけるよう、市独自の応援策として妊婦特別給付金5万円を支給いたします。対象となる方は、特別定額給付金の基準日には生まれていなかったためにお子様が生誕した日から

外れてしまったという、4月28日時点で妊娠中の妊婦さんです。

アナ： これは妊婦さんにはありがたい制度ですね。

市長： また、子どもたちへの支援も強化いたします。

今年は5月下旬まで小中学校は休校や分散登校となり、子ども達の学習の遅れが大変心配されました。市では予定を前倒して、今年度中に、全小・中学生の学習用端末としてタブレット端末を一人一台配備する準備を進めていきます。再度感染症が拡大し、通常の授業が難しい場合にも、ICT技術を活用し、オンラインで授業を受けることができるよう、子どもたちの「学び」をしっかりと保証していくとともに、学校においても、安全に過ごすことができる環境を整えていきたいと思っております。

アナ： その他の支援策もありましたら教えていただけますか。

市長： はい、これからは感染予防を徹底しながら、先を見据えた経済対策も必要になります。

以前の放送で紹介しましたが、市民の皆様が応援したい飲食店のお食事券を事前に購入して支援する「飲食店応援プログラム みらい飯」では、延べ1,991人の方から総額3,027万円の支援をいただくことができ、大変好評でした。これは三島市には、皆様から愛される、魅力的な飲食店が数多くあることの証であり、厳しい状況が続いている市内の飲食店もこの支援に大きく元気づけられたことと思っております。

そこで、さらに市内での様々な消費を促すため、1万円で1万2千円分使える20%のプレミアム付き商品券を80,000セット販売いたします。先行きの不安からお金を使うことを躊躇してしまう方も多いと思いますが、この商品券を使って、お得に買い物をしていただくことが、地域経済への貢献につながりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

アナ： 感染症予防対策、生活安定対策、経済対策と様々な側面からこのコロナ禍を乗り越える市の取り組みをお聞きすることができて安心いたしました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。